

学校再編の前に

ET車による公共交通計画を

- ・南北に細長い嵐山町・北部地区に公共交通の拠点を作りましょう。
- ・駅・停留所から半径1Km以上離れている地区で地域公共交通会議を設置し、地域公共交通計画を策定実施すると、交通を担うバス・タクシー事業者に赤字分の半額の補填が国から行われます。隣接地区の利用は可。
- ・市町村に赤字分半額の80%が特別地方交付税に含れて交付されます。

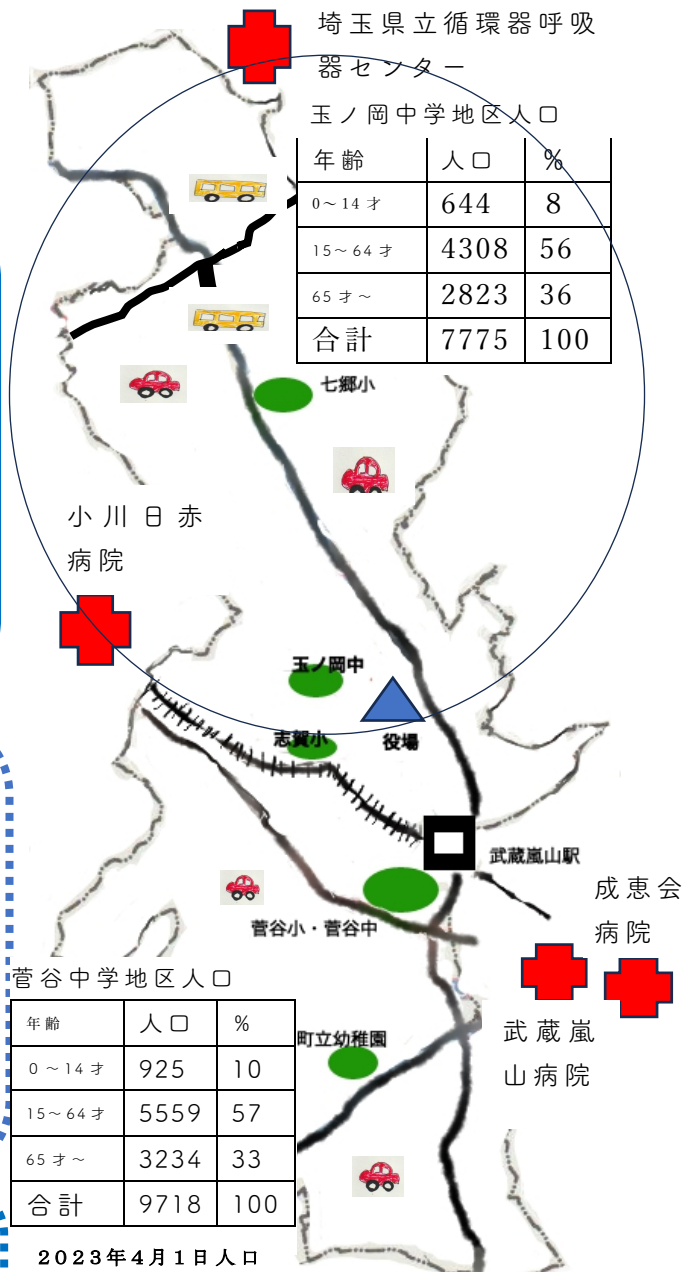
- ・七郷地区（吉田・越畑・古里・太郎丸・杉山・勝田・広野）を起点とし小川日赤病院・埼玉循環器センター・志賀・菅谷地区、武蔵嵐山駅・武蔵嵐山病院・成恵会病院を結ぶ幹線電気バス路線を作りましょう。
- ・地区から幹線バス路線までの往復は地区で電気自動車のカーシェアリングでCO2削減を実現させましょう。

- ・地区で電気自動車カーシェアリングは高齢者の第2ステージの仕事に。
- ・根岸・將軍沢・大蔵・遠山地区にも幹線路線バスまでの短い距離の地域交通を作って接続できるように。

- ・学校統合し、スクールバスを町民利用しスクールバスとタクシー補助券で地域交通をつくる方向もあります。

安全な歩道・自転車専用通路の整備を。

- ・人口が集中している武蔵嵐山駅周辺は、歩いて楽しいまちづくりを。
- ・武蔵嵐山駅を利用するハンディのある方には、駅すぐに乗降停車場を。
- ・まちづくりはCO2の削減の視点で。



32年間の議員生活から

■「政治に口出しする女は嫌いだ」意識を感じます。会派「政友会」の「政治は男のもの、勝手な口出しは許さん」意識が強いのが現嵐山町議会です。「議員の常識は、市民の非常識」という戒めをもち、行動しています。

■1951年広島県生まれ

■家族・夫

■拡大家族 10人
娘3人とその家族

■趣味

読書 WEBコミック
下手 Viola 演奏

